

## 1月号の天気コラム

### 初日の出

「初日の出」を拝む方も多いでしょう。日本では一年に一度の最初の夜明けとしてめでたいとされていますが、歴史は新しく、明治以降に盛んになったといわれています。日本列島の平地でいちばん最初に昇るのは千葉県の犬吠埼で、2009年は6時46分でした。いちばん東にある北海道の根室でないのは、この時期の太陽が東南東から昇るためです。西日本は7時台です。 (『日本気象協会編、アリス館』より)

### 会報閲覧室 (玉造連盟事務所)

『ポンポン山』2017年11月号・No.376

高槻勤労者山岳会 / 48頁

毎月、各会から会報や府県連盟ニュースが連盟事務所に届けられています。この会報・ニュースは、いつでも閲覧できるように連盟事務所 (玉造) の会報閲覧コーナーに置いています。いつでも是非ご覧ください。

今月は春にも紹介をしました高槻労山の機関紙をもう一度。高槻労山から隔月、会員の版画表紙の会報が届きます。11月号の作者は三鍋敏郎さん、山岳地形や花の版画が多く、時々解説の文字入りも見られる力作です。9月号ではミヤマダイコンソウの花に「風の強い岩場に咲くのは貴女の意地、僕が山道のない尾根を歩くのと良く似ている」のメッセージで飾っていました。三鍋さんの人柄が伝わってきます。目次を拝見させていただくと、ページの大半が大勢の会員が企画された山行計画と山行報告がびっしりあるのも特徴、会活動の活発さが伝わってきます。11月号では50周年記念と初級登山学校卒業山行を兼ねた木曾駒ヶ岳、蒜山二座縦走、戸隠連峰・高妻山の山行報告。三鍋さんのポンポン山雑感では岡山県の山を報告され、大空山 (1140m) への尾根 (ふぐるみ原生林) での樹齢数百年というブナ林を「日本のあるべき山の姿が残されている」と書かれています。一度、岡山の山も登ってみたいものです。

### 10月、この一冊を 『青春を山に賭けて』 (植村直己、文春文庫)

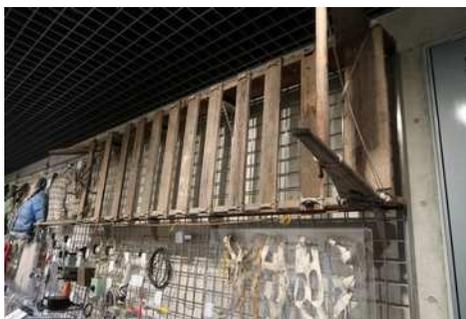
11月に豊岡市日高町の植村直己冒険館に行く機会があり、もう一度『青春を山に賭けて』を読み返してみました。明治大学の山岳部活動からアメリカ合衆国・ヨーロッパ放浪を経て、五大大陸最高峰踏破までの青春の登山の記録です。この中には60日間アマゾンイカダ下りやグランド・ジョラス北壁の登攀も報告されています。しかし、植村氏は1984年2月、北米マッキンリーに冬季単独登頂後に消息を絶ちました。文庫本のためのあとがきに「私は五大陸の最高峰に登ったけれど、高い山に登ったからすごいとか、厳しい岩壁に登攀したからえらい、という考え方にはなれない。山登りを優劣でみてはいけないと思う。要は、どんな小さなハイキング的な山であっても、登る人自身が登り終えた後も深く心に残る登山がほんとうだと思う」という言葉を記しています。素晴らしい植村直己氏の人柄ですね。この機会にもっともっと植村直己氏を知りたいと思ったのでした。

## ◇編集後記◇

11月23日、当初の山行予定（氷ノ山&浜坂・加藤文太郎記念図書館）を雨天予報のため中止、その代替として加藤文太郎記念図書館に植村直己冒険館、竹田城を企画しました。題して「但馬の偉大な二人の登山家を訪ねて」、参加者からも「何と素敵なタイトル…」と出発前から好評でした。コースは反時計回りで植村直己冒険館（豊岡市日高町）～加藤文太郎記念図書館（新温泉町浜坂）～竹田城（朝来市竹田）と巡回しました。なかでも感動は植村直己冒険館、何と私にとっては四度目の訪問でした。何度も足を運んでも植村氏の感動と刺激を与えてくれるのが不思議です。同行されたTMさんの感想も植村氏の人柄が伝わってきますので紹介しましょう。

### 植村直己冒険館（TM）

勤労感謝の日、兵庫県豊岡市日高町に在る「植村直己冒険館」を訪ねました。私が、登山家・冒険家である植村直己（生誕 1941－失踪 1984：アラスカ州マッキンリー山中）を知ったのは、1986年に公開された映画「植村直己物語」でした。（当時10代だったことが判明！）映像の影響は大きく冒険館を訪ねるまでは、植村直己＝主演の西田敏行、妻の公子＝賠償千恵子というイメージでした。冒険館では、植村の経歴やお人柄、冒険スタイルやグッズ、失踪直前におけるセスナ機との無線交信では最後の肉声が流れていました。また、明治大学の捜索隊が5200m雪洞付近で35点もの装備を発見した際の写真パネルや当時の新聞記事等が展示されてありました。謙虚で大胆な植村の生き方が伝わる冒険館でした。（大西）



北極点犬ゾリ単独行で使用したソリと装備品



北極圏で撮影した植村直己氏のパネルの前で記念写真

\*\*\*\*\*

今月も各会より会報を送っていただきました。 安治川山の会ニュース（安治川山の会）、やまなかま（泉州労山）、きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぼんぽん山（高槻）、奈良県連ニュース滋賀県連ニュース、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、HCかざぐるま、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）

編集・発行 入澤、大西秀、笠井、園、高橋、中井、中尾、服部、大西清

\*\*\*\*\*